

## 地域インターンシップ・プログラム（LIP）の概要

### ■ 趣旨

この事業は、和歌山大学観光学部に在籍する学生を研修生として地域へ派遣し、本学部の学生が地域の方々との交流を図りながら、地域における観光振興および地域再生の実践を現場で学ぶことを目的とする教育プログラムです。

### ■ プログラムの仕組み

地方公共団体等、地域の側から、学生が地域再生や観光振興の現場を体験し、地域について学ぶことのできるプログラムをご提案ください。

各地域よりいただいたご提案について、担当希望教員の承諾が得られた場合、参加する学生の募集を行います。学生の応募があり、実施が可能であると判断されたプログラムを当該年度実施するプログラムとして認定します。

学生の応募が定員に大幅に満たない場合や、予算が確保できない場合には、実施に至らないことがあります。また、プログラム運営の都合上、同一地域からの複数のプログラム提案はお受けできない場合があります。

### ■ プログラムの要件

LIP は、上記の趣旨を踏まえ、学生が、現地に足を運び、地域住民と連携することによって地域の課題解決に向けた活動や調査活動に取り組むものであり、それらを通じて、地域の観光振興および地域再生の実践を学ぶことができる内容を含むことを要件とします。

### ■ 実施期間

学生の授業に支障のない期間での実施とします。実施時期としては、夏季休暇（8月下旬～9月末）が最もまとまって時間をとることができます。なお、2020 年度より、プログラムの期間が原則 2 年以上 5 年以内となりました。今後のプログラム設計を含めた提案をよろしく願いいたします。

### ■ 実施時間

実施時間については、プログラムの内容によって柔軟に対応可能です。

学生には、プログラムの活動時間に対して単位を認定しますので、プログラム参加のための事前事後学習の時間を含め、トータルで 30 時間以上を確保する必要があります。事前事後学習については学内での実施も可能であり、事前事後学習と現地での諸活動との時間配分については、プログラム担当教員と地域との協議において確定することになります。

## ■ プログラムの費用負担について

プログラムの実施には、学生の交通費および現地での活動に係る諸経費が発生します。プログラムをご提案いただく際に、こうした費用負担が可能であるかをご検討ください。同行する担当教員の交通費・宿泊費・謝金等については、ご負担いただく必要はありません。

予算捻出に困難を伴う場合には、観光学部より予算措置を行うことができます。プログラムに対する学生の応募状況に鑑み、予算配分を行います。なお、学部予算には限りがありますので、地域で費用をご負担いただいた方が、プログラムの実施可能性は高くなります。(学部予算は、学生の交通費や宿泊費、学生の活動に関わって発生する諸経費にのみ利用可能である点ご了承下さい。)

## ■ 担当教員の役割

各プログラムには、毎年の活動計画の作成・地域との調整および学生の監督、活動支援を行うために少なくとも1名の担当教員を配置します。ただし、活動結果のまとめや報告については学生主体で行うことになります。

## ■ 提案方法

**※2021 年度新規募集プログラムより提案方法が変更になっています。必ずご確認ください。**

年に1度の公募を行います。2021 年度のプログラム提案をお考えの場合は、同封の「地域インターンシップ・プログラム (LIP) 申込書」に必要事項を記入の上、下記申込書提出先までメール、FAX、郵送、いずれかにてお送りください。プログラムの趣旨や申込書の記入方法、具体的な活動に関するご相談は観光実践教育サポートオフィスにて承ります。ただし、事前相談を行い、申込書を提出いただいた場合でもプログラムの実施に至らないことがございます。あらかじめご了承ください。

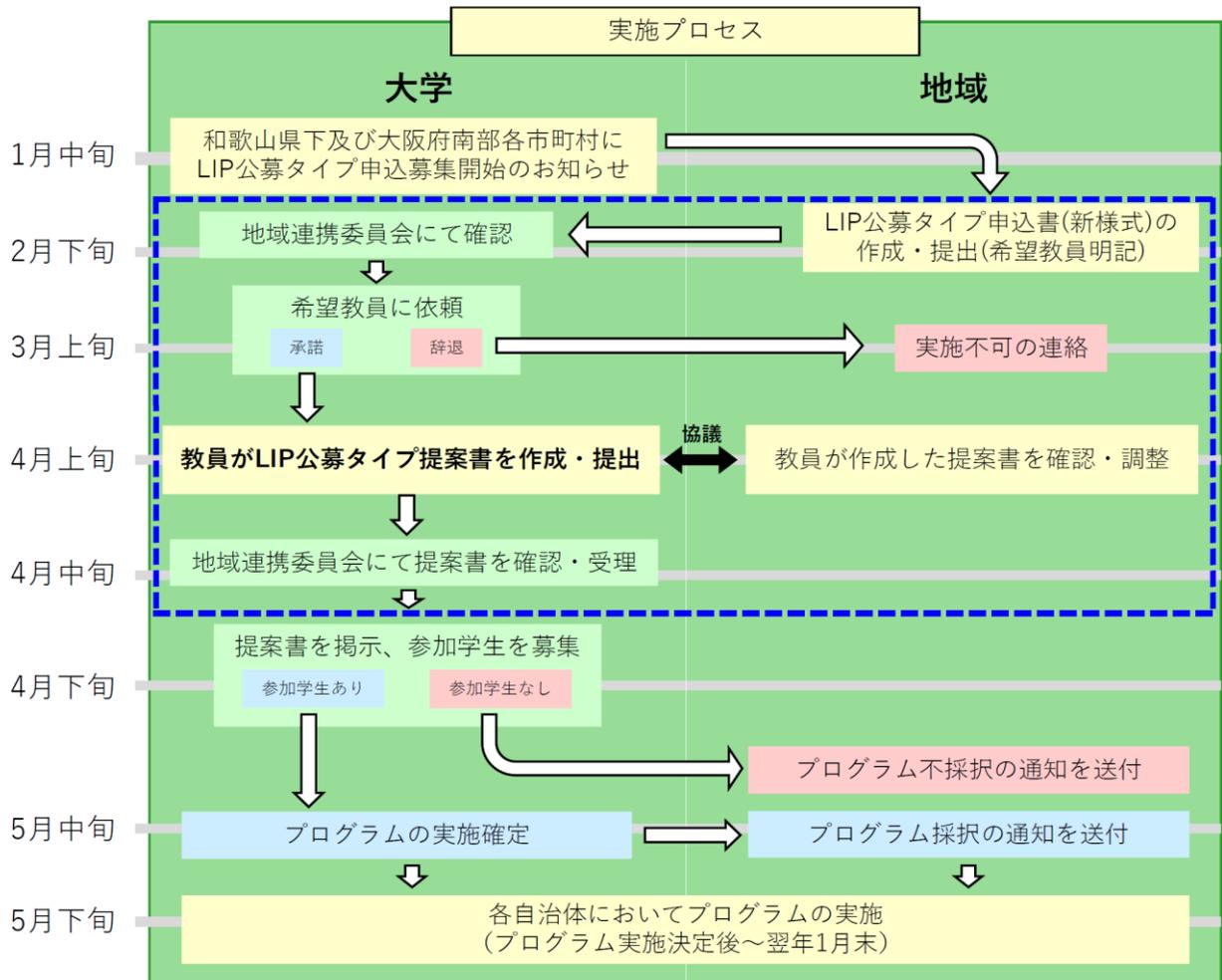
「担当希望教員について」の項目につきましては、「2021 年度希望可能教員リスト」から担当を希望する教員を選択し、ご記入ください。リストに記載されていない教員は、前年度から継続して担当する LIP 等があるため、担当希望教員として記入することができません。また、希望可能教員リストに記載された教員をご記入いただいた場合であっても、当該教員が辞退した場合は実施することができません。なお、申込書提出前に担当希望教員と面談を行うことも可能です。面談を希望される場合は、日程調整を行いますので、2月12日(金)までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

申込書の提出締切日は **2月26日(金)** となっております。

また、申込書は電子データ (word 形式) もご用意しております。ご希望の際は、観光学部 HP「地域インターンシッププログラム (LIP) (<https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/internship/lip/index.html>)」からダウンロードいただくか下記問い合わせ先までご連絡下さい。

実施プロセス	
2021年2月12日(金)	担当希望教員との事前面談希望の締切
2021年2月26日(金)	地域からの申込書の提出締切
2021年3月上旬～ 2021年4月中旬	担当希望教員へ申込書を配付・依頼 ○承諾：担当教員がプログラム提案書を作成。地域と協議・確認・調整。 ×辞退：地域連携委員会より地域担当者へ実施不可のご連絡。
2021年4月14日(水)	担当教員からのプログラム提案書の提出締切 参加学生の学内募集開始
2021年5月下旬 ～2022年1月末	実施プログラムの決定と地域への通知～順次プログラム実施へ 観光学部予算の配分（必要に応じて）
2022年2月初旬	単位認定のための報告書類の作成と提出 LIP 合同報告会の実施（予定）
2022年3月末	2021年度プログラムの終了

実施フロー図



## ■ 2021 年度希望可能教員リスト

・大浦由美 教員	・木川剛志 教員	・北村元成 教員
・澤田知樹 教員	・竹林明 教員	・竹林浩志 教員
・Chakraborty Abhik 教員	・出口竜也 教員	・Doering Adam 教員
・堀田祐三子 教員	・吉田道代 教員	

※各教員の専門分野、教育・研究活動については、観光学部 HP「観光学部教員一覧 ([https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/teacher\\_tourism/post\\_301.html](https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/teacher_tourism/post_301.html))」を参照ください。

## ■ LIP に関する問い合わせ先および申込書提出先

(※ 書類提出時には、宛先および件名等のいずれかに「**LIP**」と明記ください。)

- ・ 和歌山大学観光学部 観光実践教育サポートオフィス 地域連携担当  
電話／073-457-8553 FAX／073-457-8586  
Email tourism-er@ml.wakayama-u.ac.jp

## ■ (参考資料) これまでの地域インターンシップ・プログラムの事例 (一部)

市町村名	テーマ
和歌山市	和歌山公園動物園の環境エンリッチメントを通じた観光活用
岩出市	SNS を利用した地域資源再発見と訪れてみたくなるコンテンツ作り
紀の川市	紀の川スイーツの開発
かつらぎ町	かつらぎ町日帰りプランの作成
紀美野町	地区×学生による観光・文化・交流情報発信と棚田の再生
有田市	地元小学生が見つけた地域の資源に対する傾向・特性調査とその活用提案
広川町	津木地区寄合会の運営、特産品開発、情報発信、イベントを共に考える
日高川町	日高川町における祭事を中心とした伝統文化と地域活性化についての調査
美浜町	カナダミュージアムにおけるミュージアム機能の強化
田辺市	農山村ワーキングホリデーのシステム構築
串本町	マグロ料理で観光 PR
太地町	地域資源として移民輩出の歴史を活かした観光の活性化を考える
和歌山県全域	「ねんりんピック紀の国わかやま 2019」大会参加者に対する観光ツアーの開発
大阪府岬町	マップを手にウォーキングをしたくなる気持ちを沸き立たせる「まち歩きマップ」の作成
大阪府阪南市	地方創生にかかる地場産物商品に関する調査・研究、デザイン考案等